

目次

本書の読み方	iv
カラー口絵	xiii

第1章 発熱性疾患

1

1-1 発熱とは	3	1-6 感染症の治療法	91
1-2 熱中症	7	1 抗生物質	91
1-3 解熱鎮痛薬	10	a ペニシリン系	91
1 非ステロイド性抗炎症薬	10	b セフェム系	92
2 アセトアミノフェン	11	c カルバペネム系	92
1-4 乳児の発熱	13	d モノバクタム系	93
1 重症細菌感染症	13	e アミノグリコシド系	93
2 突発性発疹	16	f マクロライド系	93
1-5 季節性を示す子どもの感染症	18	g ペプチド系	93
1 季節でみる子どもの感染症	18	h 合成抗生物質	93
2 冬 期	28	i その他	94
a インフルエンザ	28	2 耐性菌	94
b RS ウイルス感染症	38	a メチシリン耐性黄色ブドウ球菌	94
c 嘔吐下痢症	40	b 多剤耐性緑膿菌	94
3 春 期	54	c ニューキノロン耐性黄色ブドウ球菌・ 緑膿菌	94
a 麻疹	54	d ESBL 産生 Gram 陰性桿菌	94
b 風疹	59	e ラクタマーゼ非産生 ABPC 耐性インフルエンザ菌	94
c 溶血性レンサ球菌感染症	61	f バンコマイシン耐性腸球菌	94
d EB Epstein-Barr ウイルス感染症	63	g ペニシリン耐性肺炎球菌	96
e 水痘・带状疱疹	69	3 抗ウイルス薬	96
f 単純ヘルペスウイルス感染症	71	a アシクロビル	96
g 流行性耳下腺炎 ムンプス	73	b ガンシクロビル	97
h 伝染性紅斑（リンゴ病）	74	c 抗インフルエンザ薬	97
4 夏 期	76	d 抗RSウイルス薬	97
a コクサッキーウイルス・ エコー ECHO ウイルス感染症	76	4 抗真菌薬	97
b アデノウイルス感染症	77	5 駆虫薬	97
c 食中毒	79	6 かぜ薬	98
d 夏かぜ	88		

a 抗ヒスタミン薬	98	1-9 発熱に伴うけいれん	127
b 鎮咳薬	99	1 熱性けいれん	127
c 去痰薬	99	2 けいれん重積	130
1-7 感染症数理モデル	101	3 細菌性髄膜炎	130
1 感染症の伝播力	101	a 髄膜炎菌	132
2 感染症の封じ込め	103	b ヘモフィルスインフルエンザ菌	136
1-8 感染症対策	105	4 脳膿瘍	137
1 感染症新法	105	5 無菌性髄膜炎	139
a 新法制定の考え方	105	6 急性脳炎・脳症	140
b 学校保健法施行規則改定の概要	108	a 脳炎・脳症	140
2 ワクチン	110	b インフルエンザ関連脳症	141
a ワクチンの考え方	110	c Reye 症候群	141
b ワクチン接種	110	1-10 発熱を伴う慢性疾患	144
c ワクチンの種類	112	1 川崎病	144
		2 若年性関節リウマチ	148

第 2 章 呼吸器疾患

155

2-1 呼吸器疾患の病態を理解するための基礎	157	2 中耳炎：	
1 咳とは	157	かぜ症状に引き続き耳の痛みを訴えたら	172
2 呼吸器障害部位とその疾患	158	3 クループ症候群：	
a 上気道疾患	158	オットセイのような咳をし始めたら	175
b 下気道疾患	164	a クループ症候群	175
3 肺炎の病理	165	b 喉頭蓋炎	176
a 正常の肺胞	165	4 喉頭軟化症：	
b 肺胞実質性肺炎の病理	165	乳児期から吸気時にゼーと音がする	176
c 間質性肺炎の病理	166	5 百日咳：	
4 小児肺炎のエックス線写真所見	166	乳児が顔を真っ赤にして咳き込む	177
a 肺野全体の含気増加	166	6 咽頭炎：	
b 無気肺	166	のどの痛みを訴えたら	178
c 肺胞充満像	166	7 扁桃腺炎（扁桃腺肥大）：	
d 肺斑状陰影	167	のどが腫れてよく発熱する	183
e 腫瘤陰影	167	a 扁桃腺摘出の基準	183
f 胸水	167	8 気管支異物：	
g 肺胞性肺炎と間質性肺炎	167	食事中に急にむせ込む	185
2-2 各論：気道の上から順番に	169	9 気 胸：	
1 副鼻腔炎：		10代以上で急に胸が苦しくなった	187
緑色の鼻を垂らしていたら	169	10 細気管支炎：	
		冬に乳児で胸がゼーゼーいって呼吸が速い	187

11 喘息性気管支炎：	
乳幼児でかぜをきっかけに胸がゼロゼロいう	189
12 気管支喘息：	
小さい頃から胸がゼーゼーいいやすい	191
13 マイコプラズマ肺炎：	
比較的元気なわりに熱と咳が続いている	191

14 クラミジア肺炎	193
15 気管支肺炎：	
高い熱が3日以上続き、咳き込んで吐いてしまう	197
a 肺炎の種類	197
16 肺炎球菌性肺炎	199
17 結核	201

第3章 アレルギー

211

3-1 アレルギーとは	213
3-2 喘息	214
a 気管支拡張薬	218
b 副腎皮質ステロイド薬	219
c 抗アレルギー薬	222
3-3 アトピー性皮膚炎・じんま疹	230
1 アトピー性皮膚炎	230
2 じんま疹	234
3-4 食物アレルギー	236
3-5 薬物アレルギー	238
1 薬剤性肝障害	238
2 アナフィラキシー	239
a 即時型アレルギー反応	239
b 薬物による発熱	240

c じんま疹	241
d 輸血後の肺浮腫	241
3 遅発性薬物アレルギー反応	241
a 多形紅斑	241
b Stevens - Johnson 症候群・TEN	241
c 薬物による過敏性症候群	242
4 その他	242
a ヘパリンによる血小板減少症	242
b アセトアミノフェン投与の副作用	243
c 抗生物質投与による白血球減少	243
d 塩酸バンコマイシンによる red man 症候群	243
3-6 アレルギー性鼻炎	246
3-7 化学物質過敏症	247

第4章 消化器疾患

253

4-1 小児栄養学	255
1 母乳とは	255
2 ビタミンなどの欠乏症	259
a ビタミンA欠乏症	259
b ビタミンB ₁ 欠乏症(脚気)	259
c ビタミンB ₂ 欠乏症	259
d ビタミンB ₆ 欠乏症	259
e ビタミンB ₁₂ 欠乏症, 葉酸欠乏症	259
f ニコチン酸欠乏症(ペラグラ)	259
g ビタミンC欠乏症(壊血病)	259
h ビタミンD欠乏症(くる病)	261

i ビタミンD不応型くる病	262
j ビタミンE欠乏症	262
k ビタミンK欠乏症	262
l ヨード欠乏症	262
m 亜鉛欠乏症	262
n 銅欠乏症	262
4-2 各論：発生しやすい月齢順に	265
1 幽門狭窄症：	
生後2～3週で噴水状に嘔吐する	265
2 先天性胆道閉鎖症：	
1か月健診で黄疸が強く、便が白い	267

3 胃軸捻転症：	
乳児期に吐きやすい	268
4 胃食道逆流症：	
乳児期に吐きやすい	268
5 鼠径ヘルニア	270
6 腸重積症	270
7 乳児下痢症：	
嘔吐と下痢をきたす	274
8 急性虫垂炎：	
右下腹部痛をきたす	274
9 胃潰瘍と <i>Helicobacter pylori</i> ：	
上腹部痛をきたす	277
10 潰瘍性大腸炎：	
学童で血便と腹痛をきたす	280
11 Crohn 病：	
下痢と繰り返す腹痛がみられる	282
12 過敏性腸症候群：	
ストレスによる下痢がみられる	286
13 その他	286
a 便秘	286
b 門脈圧亢進症	287
c 急性膵炎	287
d 先天性胆道拡張症	290
e 新生児肝炎	291
f Peutz - Jeghers 症候群	291

第 5 章 緊急を要する病態・疾患

293

5-1 日本の小児の死亡原因	295	b ヘビ咬傷	301
5-2 誤飲，中毒	296	6 薬剤アナフィラキシー	301
1 たばことマッチ	296	5-3 乳幼児突然死症候群	303
a たばこ	296	5-4 来院時心肺停止状態	305
b マッチ	297	5-5 溺 水	307
2 胃洗浄禁忌の誤飲	297	5-6 小児熱傷	309
a 灯油，石油，ガソリン	297	5-7 外 傷	312
b 強アルカリ性物質，強酸性物質	297	1 トリアージ：	
c 接着剤	298	小児外傷の初期判断	312
3 水 銀	298	2 小児頭部外傷の特徴	312
4 中 毒	298	3 小児特有の外傷	313
a 有機リン中毒	298	a 鈍い外傷	313
b サリン中毒	299	b 拡大性頭蓋骨骨折	313
c ヒ素中毒	299	c 急性硬膜下血腫	314
d シアン中毒（青酸カリ）	300	d 慢性硬膜下液体貯留	314
e トルエン中毒（シンナー）	300	5-8 感染毒素による疾患	321
f テオフィリン中毒	300	1 破傷風	321
5 ハチとヘビ	300	2 ボツリヌス中毒	322
a ハチ刺症	300	5-9 疼 痛	324

6-1 子どもの成長・発達	329	5 先天性筋性斜頸	351
1 バイタルサイン	329	6 骨髄炎	353
2 身体および運動発達	330	7 肘内障	354
6-2 母子手帳	343	8 特発性側弯症	355
6-3 その他	348	9 尿検査における異常	355
1 脳性麻痺	348	10 鉄欠乏性貧血： 顔色が優れない	357
2 膝蓋腱反射	349	11 片頭痛	358
3 筋緊張低下児	351	6-4 子どもの健康	362
4 先天性股関節脱臼	351		

7-1 心の発達	369	2 社会恐怖症	401
7-2 感情障害	370	3 選択性緘黙	401
1 うつ病	370	4 登校拒否	405
2 情緒障害	370	5 過換気症候群	405
3 躁うつ病（双極性障害）.....	370	6 全般性不安障害	407
7-3 広汎性発達障害	372	7 強迫性障害	407
1 自閉性障害（自閉症）.....	372	8 恐怖症	408
2 Asperger 症候群	374	7-14 心的外傷後ストレス障害	410
3 小児期崩壊性障害	376	7-15 被虐待児症候群	412
4 Rett 症候群	376	7-16 行為障害	416
7-4 統合失調症	378	7-17 その他	419
7-5 精神発達遅滞	379	1 遺糞症	419
7-6 神経発達と能力の評価	380	2 睡眠障害	419
7-7 心身症	384	3 歯ぎしり	419
1 身体表現性障害	384	4 指しゃぶり	419
2 心気症	387	5 子育て	419
3 詐病，虚偽性障害	387	6 別 離	419
7-8 自殺，自殺企図	389	7 家庭内暴力	420
7-9 神経性食思 欲 不振症	390	8 心理社会的原因による成長障害	420
7-10 注意欠陥多動性障害	392	9 保護者による Münchhausen 症候群	420
7-11 夜尿症	398	10 破壊的行動障害	421
7-12 チック障害	399	11 息止め発作	421
7-13 不安障害	401	12 反抗やかんしゃく	421
1 分離不安障害	401	13 ウソつき	421

14 窃 盗	421	16 放 火	422
15 家 出	422	17 攻 擊 的 性 格	422
欧文索引			423
和文索引			428